

横浜市立幸ヶ谷小学校 学校だより
KOU KOU Newsletter

10月号

学校教育目標:「自分 友だち 社会の幸せをつくる子ども」

令和6年9月 日発行
横浜市立幸ヶ谷小学校

Web Site <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kohgaya/>

TEL (441) 3170

E-mail y3kogaya@edu.city.yokohama.jp

FAX (441) 9896



United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization



UNESCO
Associated
Schools

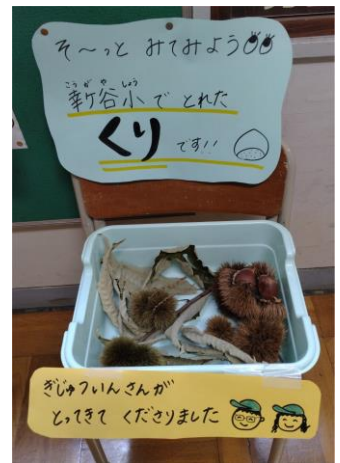
前期終了。後期を迎えるにあたって。

校長 谷石 宏之

「栗ごはん おいしいんだよ」

下校途中の2年生男子数名が、校舎裏で話しかけてきました。

学校用務員が学校で見つけた、という栗を、栄養教諭が全校児童用に飾っていたので探しに行くと、校舎裏に成熟した栗の実を見つけることができました。話しかけてきた2年生たちは、下校時に道路から眺めて、気づいていたそうです。きっと、この季節になると、ご家庭で食卓を囲みながら栗ごはんを食べていたのでしょう。この原稿を書いている日(9/20)は猛暑日ですが、確実に秋の気配が訪れていることを実感しました。そして、季節の移り変わりに気づいている子どもたちの姿に嬉しさを覚えるとともに、私たち大人が子どもたちに情報や刺激を与えていきたい、と感じました。



幸ヶ谷産の「栗」

さて、10月を迎えます。学校でいう前期が終了します。

過去を思い返すことなく、未来に向けて直向きに進んでいくことも大切です。ただ、一旦立ち止まり、言動を振り返りながら新たな目標を設定し、前進していくことが生活をよりよくするためには効果的ではないかと考えています。

新しい学年に進級し、新しい友達、先生とスタートした2024年前期の学校生活はいかがでしたか。

うまくいったこともそうでないこともあったかもしれませんが、その理由や原因を探り、後期の生活につながるような方策が見つけられたらひと安心ですね。また、失敗に関する「反省」や「改善」だけでなく、成功についての「秘訣」や「継続」に目が向くと、前向きな行動につながりやすいになりやすいのではと考えています。

『個性を大切にできて みんなで笑顔の花を咲かせられる幸ヶ谷小へ』

今年の児童会スローガンです。一人ひとりのこと、集団のことに触れており、大切にしていきたい言葉です。運営委員会児童がPR動画を作り、全校に広めようと努力しています。

めあてや目標、スローガンは決定したときがいちばん盛り上がると思われますが、具体的な言動として、継続していかなければなりません。学校教育目標、学級目標とも照らし合わせながら、各教室で後期につながるような時間を創出し、目的をもった学校生活を過ごすことができるように教職員一同邁進してまいります。ご家庭でも、お子様の日常について振り返っていただき、後期の学校生活がより充実したものとなるようにご協力いただければ幸いです。地域の皆様におかれましては、引き続きお気づきの点がございましたらご意見をお寄せください。

今後ともどうぞよろしくお願いたします。